



～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会
枕崎市中央町 184 番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

「私が引き受けます」

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

梅雨が明けた。途端に太陽の日差しが強く感じられ、気温も 35℃に迫ろうとする日が続いている。また、台風が次々と接近したが、その後は一時的に気温が下がるかと思いきや、涼しくはならず、湿度も高い状態が続いている。報道によれば、今夏も猛暑となるとのことだ。暑い夏を乗り切るために体力・気力を整え、気合を入れたいと思う。

さて、昔からよく「若い時の苦労は買ってでもせよ」と言われる。若いうちは仕事でも人生でも困難にぶつかって経験を積み、それを乗り越えることが、自らを鍛える上で大いに役に立ち、後々に財産になるということであろう。

とは言うものの、世の中は働き方改革が声高に叫ばれるぐらい、お互いに何かと慌ただしい。ともすれば煩わしいことは避けたいという気持ちが生まれ、苦労や困難どころか、様々な身の回りの出来事に対し、ついつい逃げの姿勢になってしまうのはよくあることだ。例えば自治公民館（自治会、町内会）全体の世話役など、仕事以外の自分にとって関係性の薄い役目が回ってきそうなときなど、声をかけられる前から、あれこれ断る理由を考えている自分に気付く人は少なくないだろう。

しかし、よく考えると、そういう役目は最終的に誰かが引き受けなければならない。そう分かっているけど、どうしても大抵の人は尻込みしてしまう。一方、そのような場面で「私が引き受けます」と言える人は、実際は多くの学びと成長の機会を得ることができる。責任を負うことは決して簡単なことではない。時には思うようにいかずに悩んだり、失敗を経験したりすることもある。しかし、その一つ一つが自分の良い経験となり、力も伸ばせるし、いい成果をあげることができれば、周囲の人たちにも喜んでもらえるに違いない。また、学校でも地域でも、家庭でもその集団に属する者として何ができるかを考え、献身的に動くことが良い結果をもたらす。個人にとっても誰かのために尽力した経験は、やがて自信となり他者への思いやりや感謝の気持ちへとつながっていく。現代は価値観の多様化の時代と言われるが、子供たちには挑戦する姿勢を、大人には互いに助け合う姿勢を身に付けてほしい。それぞれが「引き受ける勇氣」をもつことで家庭や学校、地域はより温かく、活力ある場になるはずである。

職場はもちろん同窓会や自治公民館（自治会、町内会）活動、スポーツ団体のチームもしくは習い事の同好会でも、勢いのある元気な組織や集団には必ずといって数人、そういう積極性や献身性を併せもつ「引き受けてくれる人」が存在している。ぜひ、その方たちの後ろ姿からいろいろなことを学んでほしい。

今年の夏休みは暦の関係で7月18日からである。長い夏休みに子供たちに何を体験させるかで2学期からの成長に大きな差が出る。「若い時の苦労は買ってでもせよ」ということわざのように、普段の学校や家庭では味わえないような苦労や困難を伴う貴重な体験をさせ、カルチャーショックを味わわせて人間的な成長を促してほしい。

苦労や困難は決して無駄にはならない。今日の一步が明日の自分を育て、未来を支える力となる。「私が引き受けます」と自然と言える枕崎の将来の担い手が一人でも多く育つことを願っている。

8月の行事予定

日	曜	行 事
1	土	校外生活指導連絡会 合同補導
2	日	校外生活指導連絡会 合同補導
3	月	夏の教育相談会① 図書館休館日
4	火	夏の教育相談会② 子ども読書活動推進研修会 子供の移動経路・通学路等の安全推進会議①
5	水	夏の教育相談会③ 定例教育委員会
6	木	夏の教育相談会④
7	金	市教頭研修会④
8	土	県子連ジュニア・リーダー及び高校生クラブ交流大会 （～9日）
9	日	
10	月	図書館休館日
11	火	山の日 リフレッシュウィーク（～17日）
12	水	学校開庁日（～15日）
13	木	
14	金	
15	土	青少年育成の日
16	日	家庭の日・市民会館休館日 九州地区子ども会ジュニア・リーダー研修会（大分大会）（～18日）
17	月	図書館休館日
18	火	学校備品検査
19	水	教職員健康診断①
20	木	会計年度任用職員研修会 教職員健康診断② かつお釣りアドベンチャー研修会④
21	金	出校日 市民あいさつ運動 図書館館内整理日
22	土	
23	日	
24	月	ICT活用に関する研修会 図書館休館日
25	火	
26	水	学校備品検査予備日
27	木	図書館館内整理日 枕崎市人権問題啓発研修会 南薩地区公民館関係者研修会
28	金	市フレッシュ研修② 図書館館内整理日
29	土	
30	日	
31	月	図書館休館日

令和8年度市民あいさつ運動標語 審査結果

令和8年度最優秀賞受賞者（敬称略）

桜山小1年 通村 つぼみ「君のあかるい あいさつで みんなにここに すてきな日」
枕崎小2年 田 中 莉 麻「おはようは こころの天気 かえるかぎ」
別府小3年 俵 積 田 大 豊「朝いちばん えがおぜんかい あいさつリレー」
別府小4年 床 波 徹 信「元気よく あいさつひびく ぼくの町」
枕崎小5年 野 村 絢 生「忘れない 感謝や別れも あいさつで」
別府小6年 小 城 湊 世「おはようと 毎日言える 今日幸せ」
桜山中1年 山 口 明 璃「こんにちは 校舎もうれしい ひびき声」
立神中2年 松 寄 聖 次 郎「ただいまが 響く家には 笑顔あり」
立神中3年 中 村 春 太「笑顔確定 大きな声で 元気シェア」

小学校から 763 点、中学校から 388 点の応募があり、9 点の最優秀作品を選出しました。今年度の最優秀作品は、あいさつが笑顔や元気を広げ、人と人とのつながりを深めることを子供らしい感性で表現した作品となっています。

どの作品も枕崎市への明るく温かい願いが込められた素晴らしい作品です。

県図画作品展枕崎市審査会の開催

7月8日（水）に元指宿市教育委員会教育長の池田昭夫氏を審査委員長にお迎えして、審査会を実施しました。今年度も、各学年とも甲乙つけがたい作品ばかりで、中央審査に上げる作品を絞ることがとても悩ましい審査会となりました。中央審査でも良い結果を残してくれると思いますので、楽しみに待ちたいと思います。

今年度は、本審査会に加えて、消防本部から依頼のあった防火ポスターの審査も同時に行いました。ポスターの審査については、テーマとなっている標語の意を汲んだ表現ができていくかどうか、審査のポイントとなりました。

学校の施設・設備を整備しています

子供たちが安心して学ぶことができるように、教育委員会では、毎年度学校の施設・設備の整備を進めています。

市内全校の体育館にバリアフリースイレを設置しました

枕崎市内の全ての学校の体育館にバリアフリースイレを設置しました。これにより、学校環境を充実させました。

市内小学校トイレの洋式化を進めています

現在、市内の小学校において、トイレの洋式化を進めています。令和10年度までに、全ての小学校の洋式化を目指し、順次整備を進める予定です。

今後も、過ごしやすい学校を目指し、学校施設の整備を進めていきたいと思います。

少年の船が9年ぶりに実施されました

7月18日（土）に9年ぶりとなる「少年の船」が実施されました。この事業は、明治28年に海難事故のため、枕崎の船乗りが犠牲になった中、黒島に流れ着いた船乗りを島民が助けた「黒島流れ」のエピソードから枕崎と黒島のつながりを継続するための行事です。多くの児童生徒が歴史に思いを馳せながら参加しました。今回は、鹿児島水産高校の実習船「薩摩青雲丸」に乗船し、船内見学などをとおして、水産高校についても学ぶ機会となりました。



地域行事は子供の社会性の学び場―共生の第一歩

夏が近づき、地域行事が増える季節になります。特別支援教育の視点で見ると、こうした行事への参加は、子供が大きく成長する絶好の機会です。地域行事では、子供たちに明確な役割があり、その達成を大人が支えます。学校のように全員が同じように取り組む場ではなく、できる子ができる範囲の仕事を担うという、実際の社会に近い、自然な仕組みがあります。踊り、神輿、さまざまな活動を通して、子供は達成感を味わい、自信や社会性が育っていきます。

さらに、学校とは異なる環境で、考え方や年齢も違う多様な「他者」と出会い、その存在を認める経験が子供を大きくさせます。この夏は、ぜひ地域行事にたくさん参加し、子供の自立と社会参加を地域全体で育んでいきましょう。